

カリキュラム

Step. 4 clinical skills training / 共用試験

4 年次

臨床実習を見据え、基本的な診療技能を身につける。

4 年次後半の臨床実習は、医療チームの一員として一定範囲の医療行為を行う診療参加型実習（clinical clerkship）のスタイルで進められるので、それまでに最低限の基本知識と診療技術を修得しておく必要があります。clinical skills training では、シミュレーターを使用したり、ロールプレーなどにより、臨床医にとって基本となる医療面接や診療技術を十分に身につけます。この授業では、患者さんの全身をひとりで診察できるレベルまで到達することを目標とし、後に続く共用試験 OSCE（下記）でその到達度を確認します。

共用試験

臨床実習前の国家試験のことです。臨床実習前の学生を対象に知識・技能・態度を評価する試験で、全国の医学部が協力して実施しています。この試験に合格すると student doctor として認定され、臨床実習で患者さんに対して医行為をすることが許されます。いわば医師の仮免許を取得するための試験ですから、合格しなければ 4 年次後期から始まる臨床実習に進むことはできません。

OSCE（objective structured clinical examination）

OSCE は、臨床能力を客観的に評価する手法として考えられたもので、その評価方法の有用性から将来的に医師国家試験へ

の導入も検討されています。教員の前で模擬患者さんを相手に医療面接と診察手技を行う試験です。本学では、この試験を日本で最も早く、平成 7 年から導入しています。また、総合大学ならではのスケールメリットを生かし、課題の一つである「医療面接」に芸術学部が模擬患者として参加しています。

CBT（computer based testing）

診察技能・態度を評価する OSCE に対し、CBT は知識・問題解決能力を評価するコンピュータを用いた客観試験です。出題範囲は、基礎医学、社会医学と基本的な臨床医学です。学生は、ディスプレイ上に出題される 320 問の問題に 1 日かけて取り組みます。



Step. 5 自由選択医学研究 1,2

4 年次

最先端の研究に触れる。

4 年次の共用試験の後、約 1 か月間にわたり研究室に配属され研究に取り組みます。自身の知的好奇心に基づく興味や創造力をかきたて、学問の面白さを発見・再確認することができる学生本位のカリキュラムです。最先端の研究に触れて、科学的思考力を養ってください。意欲があれば国内に限らず海外施設で

学ぶこともできます。医師として生涯にわたり自らの知識を広げ、常に研鑽する「自主創造」の礎となるものです。さらに研究を続けたい学生のために、4 年次後期に研究を継続できる科目（「自由選択医学研究 2」）があります。

Step. 6 臨床実習（clinical clerkship）[4 年次後半～6 年次]
選択臨床実習 / 臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）[6 年次]

4 年次

5 年次

6 年次

医療チームの一員として診療業務を分担しながら、教員の指導のもとで一定範囲の医療行為を行う診療参加型実習（clinical clerkship）のスタイルで進められます。学生は、Student Doctor と呼ばれ、患者さんに接しながら基本的臨床技能、現場での思考法、さらに態度を含めた医師としての能力を総合的に学んでいきますので、より実践的な実力を身につけることができます。4 年次後半からの臨床実習は、「初期 clinical clerkship」として 12 週間の実習を行います。複数の診療科にわかれ、基本的な病態の評価、診療計画の立案や医療面接、身体診察、及び検査の基本的な事項を学びます。5 年次からの臨床実習では、1 グループ 3 名程度の少人数で、1 年間をかけて附属病院・関連病院等も含めた診療科全科で実習を行います。臨床推論に必要な医学知識を身につけ、質の高い疾病診断と診療計画の立案や医師の責務についての自覚などを、医療チームの一員となって修得します。6 年次の選択臨床実習では、学内コースだけでなく、関連病院をはじめ学外コースも設置し、地域医療の実習を経験することができます。

臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）

Post-CC OSCE では、臨床実習の成果が問われます。頭の中で模擬患者さんの病気を考えながら、患者さんの言葉を引き出したり、身体所見を探したりする試験です。単なる医学知識だけでなく、それを生かして診断するための総合的な学力が試されます。



Step. 7 学力統一試験

5 年次

6 年次

医師国家試験合格は医学教育の集大成の一つであり、医師国家試験問題に準拠した内容で 5, 6 年次が同一の試験問題を用いて年 2 回実施します。5 年次からの実施は、単なる前倒し学修ではなく、自らの欠点や苦手を把握し、効果的・計画的に学修

するよう目指しています。